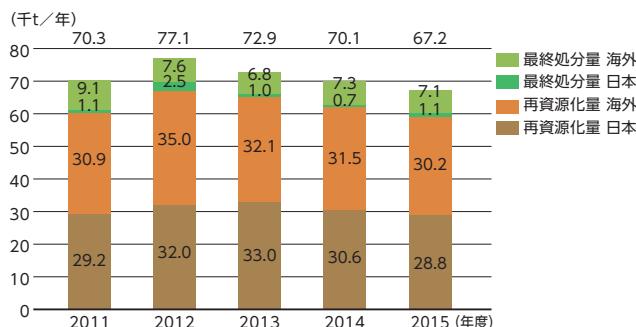


省資源対策

■廃棄物発生量^{*1}、再資源化量及び最終処分量^{*2}の推移



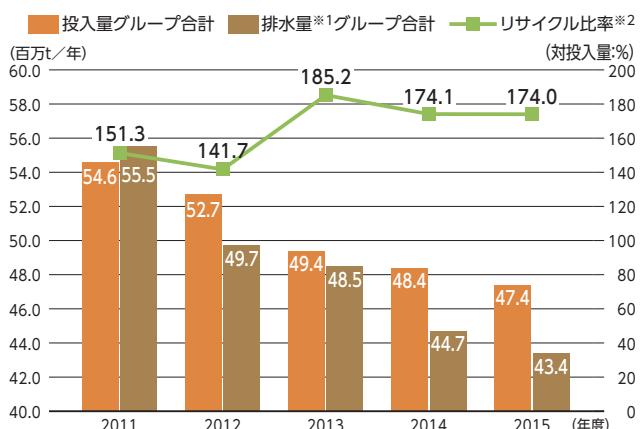
*1 廃棄物処理外部委託量

*2 単純焼却または単純埋め立てした量

■富士フィルムグループの水使用の仕組み



■水の投入量、リサイクル量及び排水量の推移



*1 事業活動で使用した水、雨水、その他含む *2 冷却水の使用も含めたりサイクル比率

■有価物量^{*3}の推移

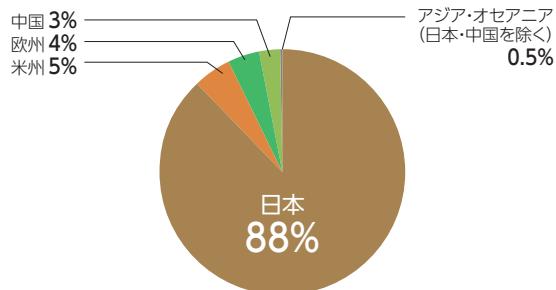
	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
日本	55.0	38.1	34.0	34.0	34.1
海外	21.3	28.4	27.2	30.1	24.5
グループ合計	76.3	66.5	61.2	64.1	58.6

*3 第三者に有償で販売した量

■廃棄物の主なリサイクル方法

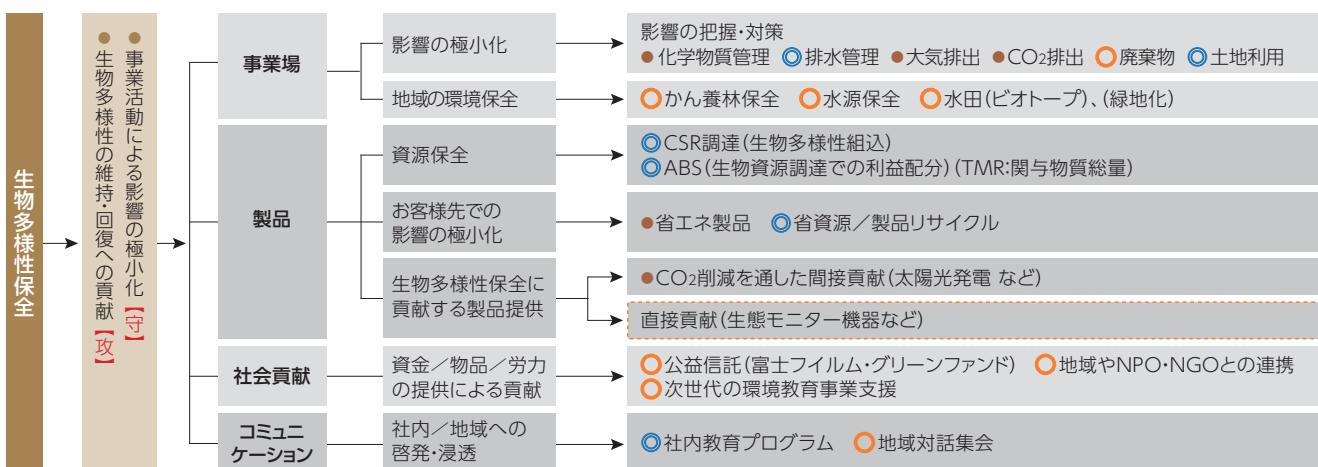
廃棄物	リサイクル例
プラスチック(分別品)	パレット、配管、衣服、断熱材
プラスチック(混合品)、フィルター	高炉原料
磁気テープ	高炉原料、畳床材、断熱材
水酸化アルミ	硫酸バンド(水処理用凝集剤)
無機汚泥、研磨剤	セメント、路盤材、建築用資材
有機溶剤	塗料用シンナー
酸・アルカリ	中和剤
可燃性廃棄物(混合物)	固体燃料、発電・温水製造
蛍光灯	グラスワール
電池	亜鉛・鉄精錬
残飯、生ゴミ、有機汚泥	肥料、飼料
紙類(文書、空き箱など)	再生紙
鉄、アルミニウム、銅など	金属精錬

■2015年度 水の投入量の地域別割合(使用量)



生物多様性への取り組み

■生物多様性保全への取り組み(全体像)



○:生物多様性保全に係る取り組み(実施中) ○:生物多様性保全に係る取り組み(今後補強) ●:間接的な生物多様性保全取り組み